

平成29年度 第1回通学区域審議会会議録

開催日時：平成29年7月3日（月）午後3時30分から

開催場所：消防庁舎4階会議室

出席者：審議会委員 米澤弘実委員(会長)、佐々木秀一委員、中山恭順委員、真殿弘一委員、
加藤孝順委員、赤松茂顕委員、田久保浩一委員、福田和洋委員、
朝日美晴委員、上原佐貴絵委員

市側（事務局） 植松教育長、櫻井学校教育部長、小熊学校教育部参事、
三角教育総務課長、高橋学校教育課長、村山学校教育部主幹、
鳥飼係長、金子管理主事、池上主査、戸丸係長、又吉、冨樫

傍聴者なし

会議の概要

【新委員委嘱状交付】

【開会】

【教育長挨拶】

【委員紹介】

【内容】

- (1) 会長選出
- (2) 報告 習志野市内の現状について
 - ・ 習志野市内における通学指定校変更の状況について
 - ① 谷津・奏の杜地区
 - ② 東習志野2丁目18番（ユトリシア）地区
- (3) 審議
 - ・ 諮問書読み上げ
 - ・ 諮問事項についての補足説明
 - ・ 答申案提案
- (4) 事務連絡等

事務局より、①「谷津・奏の杜地区の指定校変更に伴うバス通学について」報告

地図を掲示し説明。JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業等の進展に伴い、谷津小学校の児童数の大幅な増加が見込まれた。保護者や地域の意見や通学区域審議会での審議・答申を受け、平成32年完成予定のなかよし幼稚園跡地の高層マンションについては、平成26年2月5日の教育委員会会議において規則改正を行い、向山小学校への指定校変更を決定した。そのような対応をしても、谷津小学校の学級数が平成35年度に最大56学級と見込まれたことから、奏の杜未入居エリア（奏の杜1-9・10、2-2）においても平成26年2月24日の教育委員会会議にて、谷津南小学校への指定校変更を決定した。その後、市長部局と協議のうえ、バス利用通学となった。

登校時のバス経路地図を掲示し説明。3つの街区が、谷津南小学校にバス通学を行う。現在は、104名の児童がバスを利用し、登校の時間帯は奏の杜三丁目バス停から乗車し、谷津干潟バス停

で降車する。奏の杜三丁目バス停で登校時のバスを待つ様子を掲示。現在は、この7時26分発のバスを利用する児童が一番多い。谷津干潟バス停の降車時の様子を掲示。

下校時のバス経路地図を掲示。下校時間帯は、谷津南小学校バス停から乗車し、奏の杜フォルテバス停で降車となる。下校時の谷津南小学校バス停の様子を掲示。谷津南小学校バス停が、通用門脇にあるため、学校敷地内で待機し、バスの発車時刻に合わせて待機スペースからバス停へ順次移動、乗車する。

奏の杜フォルテバス停で降車する様子を掲示。なお、児童が乗車するバスには、車内の見守り対応として安全整理員が同乗している。

事務局より「東習志野2丁目18番（ユトリシア1，2，3，4番地）の弾力化について」報告東習志野2丁目18番の地図を掲示。JEF（旧川鉄）建材習志野工場跡地に、総戸数1453戸のマンション「ユトリシア」が建設され、平成21年3月から入居を開始した。東習志野小学校児童推計図を掲示。東習志野小学校では児童数が増加し続け、平成30年度より、普通教室が2教室不足することが見込まれたことから、ユトリシア1～4番街については、実花小学校を選択できる弾力化通学区域とし、さらに平成26年8月27日の教育委員会会議において、今後、入居が開始される5番街については、実花小学校へ指定校変更することを決定した。地図を掲示し説明。1～4番街は実花小学校を選択できる弾力化の学区とし、5番街は実花小学校に指定校変更した。

ユトリシア1～4番街及び5番街の通学状況表を掲示。弾力化通学区域では、1・2年生は東習志野小学校へ通学する児童の方が多い。

質疑応答

（中山委員）

谷津南小学校に奏の杜在住の児童がバス通学していることは認識しているが、行きのバスは小学校の正門前に谷津南小学校バス停がありながら、操車場まで乗せて学校まで数分歩かせるのは道路の横断が危険だからなのか。何か他に理由はあるのか。

（三角教育総務課長）

谷津南小学校バス停は、下りの場合は歩道の幅が1.5～2.0メートルと子どもが降りて滞留するには狭く、終点谷津干潟バス停の先にある操車場において降車させるという対応を取っている。

（朝日委員）

谷津南小学校PTAとしては、現在のバス通学の児童数が104名ということもあり、色々な面で限界を感じている。これからどうなるのかという保護者の不安がある。朝は10分おきにバスが来るため、高学年の子どもたちは朝早い時間のバスに乗車するなど、時間差等の工夫をしているが、2年生が7時8分へ、それ以外の子どもたちも、混まないように早いバスへとシフトしてきている。学校は7時40分にならないと昇降口が開かないのでそれまで昇降口の前で待っている状況である。帰りは正規の時間の3分後に臨時増便が出ているので、今のところは問題ではない。ただ、これからさらに児童数が増えてくるとどうなるのか。奏の杜地区は引っ越してくる世帯がほとんどであり、バス通学に不安を感じている方が多いと感じる。そこで、教育委員会内で来年度の取

り決めをする際に、保護者同席の説明会等の機会をつくってほしい。

(村山学校教育部主幹) 朝のある一定の時間帯は、混み合っていることを確認している。その他の余裕のある時間帯も見受けられるので、情報提供をし、均等に乗車できるよう考えたい。来年度以降も児童数が増える見込みであるため、現在、京成バスと協議をし臨時便等の対応を検討している。また、保護者への説明については情報提供や意見聴取のうえ、より良いバス通学となるよう取り組んでいきたい。

事務局より諮問書の読み上げ。

事務局より諮問「鷺沼台1丁目1番及び鷺沼台2丁目19番地域の一部の通学区域について」補足説明。

掲示した表と、資料2を用いて鷺沼小学校区内の開発状況を説明。鷺沼小学校区内において、A～Eのように住宅地の開発が進んでいる。当初の推計より児童数の増加が見込まれるようになってきている。千葉県小学校学級編制基準を掲示。1学級の人数が、1学年・2学年が35人、3学年から6学年が38人となっていたが、平成29年度より、学校長の判断によって、3学年においては1学級の人数が38人から35人への変更が可能となった。

掲示した表と、資料3を用いて鷺沼小学校の児童・学級数を説明。特別支援学級2学級を含めた児童数と学級数の推移の図である。鷺沼小学校は保有教室数が28であり、平成35年度以降、教室数の不足が予想されるため、鷺沼小学校通学区域の見直しが必要であると考えます。

鷺沼小学校区全域図を掲示。すでに入居開始しているA・B及び学級数に影響が少ないEについては、そのまま鷺沼小学校とする。一方、C・Dについては児童数増加に伴い、学級数に影響を与えることが予想されていることから通学区域の変更を考えるものである。

Cについては、鷺沼台2丁目19番の一部、「菜々の湯」の左側(西側)に位置し、50戸の戸建てを建築し、平成30年秋前後に販売開始予定となっており、この区域を鷺沼小学校から大久保小学校に変更したいと考える。昨年行われた開発行為の事前協議の段階では、開発業者へ鷺沼小学校区である旨の説明をしたが、その後、大久保小学校区へ変更することの理解を得ている。

Dについては、鷺沼台1丁目1番の一部、青葉幼稚園のはす向かいに位置する関東財務局宿舍跡地に現在建設中の81戸のマンションは、京成電鉄が販売元で既にチラシの配布がされており、本年9月に販売が開始される予定となっている。この区域を鷺沼小学校から津田沼小学校に変更したいと考える。

なお、C、Dの入居に伴う児童増加数の見込みについては、Cは平成34年度までは1桁の人数であるが、平成35年度からは2ケタに達し、最大で30名程度である。Dは平成32年度から2ケタに達し、最大40名程度と推計している。

D地区の予定通学路図の掲示と資料1-2を用いて説明。Dから「菊田水鳥公園」脇道を通り、レストラン「あけぼの」よりやや京成津田沼駅側、踏切そばのセブンイレブンの脇道を上り、長寿庵の脇道に出るという経路で、合計で1.1キロメートルである。現在、セブンイレブンの脇道から長寿庵の脇道に出る通学路を利用している津田沼小学校の児童は約40名である。

C地区の予定通学路図を掲示。資料1-3を用いて説明。Cからの通学路はほぼ直線道路で、距離は1.1キロメートルである。C、Dともに変更後の通学路の安全は確保されている。

C・D両地区を指定校変更した場合の鷺沼小学校の児童数・学級数の推計を掲示。教室数不足は解消される見込みである。

資料4を用いて説明。また、変更した場合の大久保小学校、津田沼小学校については、変更後においても教室数の不足は生じない見込みである。

質疑応答

(中山委員) 鷺沼小学校校舎は比較的古いですが、増築していない中で、第二次ベビーブームである昭和50～60年代の児童数は多かったと思うが、過去の目安となる数字を教えてください。

(高橋学校教育課長) 昭和61年度から調べた結果、学級数が少なかった年度は、平成11年度から平成13年度が一番少なく、合計18学級である。経過としては昭和61年度に23学級、その後少しずつ減少し、平成14年度から徐々に増加し、現在では25学級となっている。

(中山委員) 懸念するのは、菊田神社の裏からJR線の高架下をくぐる道は、夕方や夜は大渋滞して車は多いが、歩道が高くなっており、車からは見えにくいところである。何人くらい通行し、危険度がどのくらいかを確認してほしい。

(米澤会長) 安全確認をしていただきたいとの要望がありましたので、御配慮をお願いしたい。

(上原委員) 線路と水鳥公園の間の道は、あまり明るくないようだが、夜間は点灯されるのか。大声を出しても、電車の音でかき消されてしまい、安全面での不安がある。

(高橋学校教育課長) 通学路を実際に徒歩で確認したが、日中においては特段心配するような点は見られなかった。通行許可においては公園緑地課に確認を取っている。夕方においては公園緑地課等と実際の状況を見ながら検討したい。

(真殿委員) 菊田神社の裏を実際に歩いて確認したとのことだが、いつか。

(高橋学校教育課長) 5月17日に実際に歩いて、距離と現状を確認した。

(真殿委員) 5月17日ということは、まだ日が長い時期であり、できれば11月あたりの4時半頃歩いてみたほうがよいのではないかと。私は市の防犯パトロール時は必ずこの道を通るが、暗く、子どもが一人で歩くというのは不安がある。ここを通学路にするのであれば、もう一度、日が短くなる冬場の4時半過ぎの時間帯に、子どもが安全に歩けるかどうか確認したほうがよいと思う。

(高橋学校教育課長) 早速、冬場、日が短くなった時の通学路の状況の確認をしたい。

(真殿委員) Cは調整区域であるが、50戸の戸建てができることにより最大30人の小学生が発生するという点でよいのか。発生率はどのような計算方法か。同様に、Dのマンションは最大81戸で、最大40人程度の小学生が発生するとのことだが、これについてもどのような計算方法か。また、小学生の発生推移の計算式を教えてください。実際、奏の杜地区では計算式の推計どおり増えたのか。

(三角教育総務課長) 推計の方法については、例えば、津田沼地区、大久保地区の全体の人口のうち、小学生が何人いるかという人口の割返しの中での発生率を通常使用している。しかし、谷津・奏の杜地区では推計に対し子どもの人口が非常に多くなったという状況が生じた。鷺沼小学校区の推計は、谷津・奏の杜地区の子どもの発生率、東習志野ユトリシアでの発生率の平均を用いて推計をしている。

(真殿委員) 資料3によると、大久保小学校、津田沼小学校にそれぞれ変更したとしても、34年度から36年度にかけては最大28学級ということだが、オーバーフローしないということでないとは変更する意味がない。オーバーフローすることはないか、もう一度確認する必要がある。

(高橋学校教育課長) 大久保小学校、津田沼小学校共に変更しても、教室数は足りるという見込みで判断している。

(佐々木委員) 真殿委員の補足だが、鷺沼小学校の教室数もぎりぎりであり、その後、割り振った大久保小学校と津田沼小学校においても40年度では両方とも最大数を迎えるというところで、3つの小学校全てがぎりぎりの状態になる。鷺沼小学校に関しては、区画整理がまだされていない鷺沼調整区域がある。図で見ると空き地があるのが一目瞭然だが、ここの地区の区画整理時は、小学校の新設を先に考えた上で進めていくよう、教育委員会から強く要望してほしい。

(櫻井学校教育部長) 大規模開発、特に区画整理法に基づく開発が行われた際は、習志野市全体で考えることではあるが、学校については新設を含めて検討していきたい。あくまでも、学校設置者は習志野市であるので、教育委員会と習志野市で共に連携を図っていきたい。

(米澤会長) それぞれ課題はあるが、CとDをそれぞれ指定校変更するという点によるのか。

《異議なし》

(米澤会長) それでは、事務局より答申案の提案をお願いしたい。

事務局より答申案の読み上げ。

質疑応答

(佐々木委員) 答申案にある(別紙資料1-1の図D)及び(別紙資料1-1の図C)は、資料1-2のD、資料1-3のCではないのか。

(米澤会長) 答申案の(別紙資料1-1の図D)及び(別紙資料1-1の図C)の表記の番号が違うのではないかとのことであるが、いかがか。

(事務局) 資料は1-1から1-3までであるが、1-1は全体を表すものであり、その全体図の中でのCとDと表記したものである。

(佐々木委員) 別添の資料として1-2、1-3ではないということか。こちらのほうがわかりやすいと思うが。

(米澤会長) 1か所に両方とも表記された資料、1-1を添付資料とする答申であることから、こちらを別添の資料とする。修正の意見はないので、事務局から提案された答申案どおり教育委員会会議に答申することとしたいがいかがか。

《異議なし》

(米澤会長) それでは、原案どおり教育委員会へ答申することとする。

(事務局) 本答申を、7月26日水曜日に行われる定例の教育委員会会議にて報告させていただきます。

(米澤会長) それでは、本日委員から出た意見、質疑の応答について、事務局は後日、議事録として報告をお願いしたい。

【事務連絡】

次回は、11月中の開催で日程調整させていただく。

【閉会】

主管課：教育委員会 学校教育部 教育総務課